

令和4年度

地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業

東京・ソーシャル・イノベーション人材育成リカレント教育プラットフォーム

調査報告書

令和6年3月15日

特定非営利活動法人 三鷹ネットワーク大学推進機構

## 目次

1	目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査項目 .....	1
4	調査手法 .....	1
5	調査期間 .....	2
6	調査結果の概要 .....	2
7	調査結果の詳細 .....	7

## 1 目的

### (ア) 地域に分散している人材ニーズの調査・把握

個人及び企業に対する調査を通じて、ソーシャル・イノベーション人材を育成するためのリカレント教育に関し、地域において求められている教育内容や人材像を把握する。

### (イ) 教育コンテンツの集約を目的とした状況の把握

三鷹ネットワーク大学の会員である教育・研究機関、主要な連携機関の会員企業等に対する調査を通じ、ソーシャル・イノベーション人材を育成するためのリカレント教育プログラムに関連する情報や状況を把握する。

## 2 調査対象

### (ア) 地域に分散している人材ニーズの調査・把握

①個人に対する調査：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の15歳以上306名

②企業に対する調査：主要な連携機関の会員企業112社

### (イ) 教育コンテンツの集約を目的とした状況の把握

三鷹ネットワーク大学の会員18教育・研究機関

## 3 調査項目

### (ア) 地域に分散している人材ニーズの調査・把握

①個人に対する調査：学習状況、学習ニーズ、ソーシャル・イノベーションに関連する活動状況、ソーシャル・イノベーション人材育成に関連する各種プログラムに関する関心

②企業に対する調査：社会貢献や地域振興等への取り組み状況、社会貢献や地域振興等に取り組む部署等の設置状況、社会貢献や地域振興等に取り組むことのできる人材育成状況

### (イ) 教育コンテンツの集約を目的とした状況の把握

リカレント教育全体への取り組み状況、ソーシャル・イノベーションに関連するリカレント教育の取り組み状況、組織としてのSDGsや社会貢献、地域振興等の推進、企業との連携、国・自治体・企業等への期待

## 4 調査手法

### (ア) 地域に分散している人材ニーズの調査・把握

①個人に対する調査：セルフ型ネットリサーチの活用

②企業に対する調査：特定非営利活動法人三鷹ネットワーク大学推進機構、一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク、一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボ会員企業への調査票の送付

(イ) 教育コンテンツの集約を目的とした状況の把握  
三鷹ネットワーク大学会員への調査票の送付

5 調査期間

令和5年6月～8月

6 調査結果の概要

(ア) 地域に分散している人材ニーズの調査・把握

①個人に対する調査

(1) 学習状況

- ・ 「この3年間の間に何かを学んだ方」は約45%。
- ・ 学びの内容：約4割が「現在行っている仕事に必要な知識やスキルに関するもの」と回答。
- ・ 学びの種類：約3割が「民間や自治体等が行う有料講座」と回答。約2割の方が「所属する企業が実施または推奨する講座」と回答。
- ・ 学びの形態：約4割が「会場での受講（座学）」、「eラーニングでの学習（録画講座の視聴等）」と回答。

(2) 学習ニーズ

- ・ 関心のある学びの内容：約3割が「現在行っている仕事に必要な知識やスキルを得る」と回答。
- ・ 関心のある学びの種類：約4割が「民間や自治体等が行う無料講座」と回答。「所属する企業が実施または推奨する講座」に関心があると回答した方は約2割。
- ・ 関心のある学びの形態：約4割が「会場での受講（座学）」、「オンラインでの受講（Zoomなどリアルタイム受講）」、「eラーニングでの学習（録画講座の視聴等）」と回答。
- ・ 年間受講時間：回答数が最も多いのは「10～20時間未満」、ついで「3～10時間未満」、「20～40時間未満」。
- ・ 受講時間帯：回答数が最も多いのは「平日夜間」、ついで「土曜日」、「平日午後」。
- ・ 年間受講費用：回答数が最も多いのは「5,000円～10,000円未満」、ついで「10,000円～30,000円未満」、「3,000円～5,000円未満」。
- ・ リカレント教育の受講を促進する要因：約4割が「所属する企業や組織からの情報提供」と回答。

(3) ソーシャル・イノベーションに関連する活動情報

- ・ ボランティア活動等実施状況：「活動を行っている」のは約2割。「行うための準備をしている」、「行っていないが関心がある」を合わせて約2割。

- ・ 寄付・クラウドファンディング等実施状況：「活動を行っている」のは約2割。「行うための準備をしている」、「行っていないが関心がある」を合わせて約2割。
- ・ 兼業副業等での取組状況：「活動を行っている」のは約1割。「行うための準備をしている」、「行っていないが関心がある」を合わせて約2割。
- ・ ソーシャルビジネス等取組状況：「活動を行っている」のは約1割。「行うための準備をしている」、「行っていないが関心がある」を合わせて約1割。

(4) ソーシャル・イノベーション人材育成に関連する各種プログラムに関する関心

- ・ 教育内容としてニーズが高いのは、SDGs／CSR／ESG、社会的課題把握、NPO／プロボノ／ボランティア、地方創生／まちづくり／スマートシティ、AI／ChatGPT 多様な働き方（起業／兼業／副業、他）。

(5) 自由回答

- ・ もっと普及すると思う。
- ・ もっと身近なものになってほしい。
- ・ 年齢に関係なく、いつでも勉強できる環境は理想的です。
- ・ 手軽に始められるシステムがあると取りかかりやすいと思う。
- ・ 学びは一生。
- ・ 所属企業が業務に必要とみなし受講料を負担してくれるウェブでの講座は受講したい。
- ・ 医療系国家資格を取ろうとすると1度離職しなければ通えないし実習に行けない状況を改善して欲しい。例えば実習期間は国から仕事を休む代わりに実習手当が出るとか。
- ・ 義務教育ではなく、自らが必要とし、目標に向かって積極的、自主的に学ぶので、とても有効だと思う。
- ・ リスキリングとの違いがわからない。
- ・ どんなことが自分にあるか分からないので、教育をコーディネートしてくれるサービスがあると良い。
- ・ リカレント教育に賛成意見を持っているが、資金面で不安があるため、補助があれば嬉しいと思う。

②企業に対する調査

(1) 社会貢献や地域振興等への取り組み状況

- ・ 社会貢献や地域振興の取り組み状況：約8割が「本業の中で事業として取り組んでいる」と回答。
- ・ 取り組んでいる分野（または関心がある分野）：約7割が「地域活性化」と回答。約4割が「教育支援」、「環境保全」と回答。

(2) 社会貢献や地域振興等に取り組む部署等の設置状況

- ・ 約4割が「外部との連携による取り組みを推進している」と回答。約3割が「社会貢献や地域貢献に専門に取り組む担当者を設定している」、「現在は取組んでいないが、今後取り組むことを検討している」と回答。

### (3) 社会貢献や地域振興等に取り組むことのできる人材育成状況

- ・ 現在の状況：約4割が「ソーシャルビジネス等、本業の中での事業開発や事業推進に取り組むことのできる人材の育成を行っている」、「現在は育成を行っていないが、今後行いたいと考えている」と回答。
- ・ 今後の希望：約3割が「広く社会課題に関する知識を得て、課題解決のための行動や応援ができる人材の育成」、「ソーシャルビジネス等、本業の中での事業開発や事業推進に取り組む人材の育成」を希望。
- ・ 従業員に習得を期待する知識や能力：約6割が「SDGs等の社会課題解決に関する概要や、環境や教育、福祉など、個別の社会課題の状況についての知識」と回答。約5割が「環境や教育、福祉などの社会課題に対し、事業として取り組み、事業開発や推進を行うための知識やスキル」と回答。
- ・ 従業員の参加を希望する内容：約4割が「大学や教育機関が実施するプログラム」と回答。

### (4) 社会貢献や地域振興等に取り組むことのできる人材育成の形態等に関する希望

- ・ 参加形態：約6割が「オンラインでの受講（Zoom等）」と回答。約5割が「現場視察や体験、インターンシップなどによる学習」、「会場でのワークショップ（複数名での討議等）」と回答。
- ・ 年間受講時間：回答数が最も多いのは「3～10時間」、ついで「10～20時間」、「20～40時間未満」。
- ・ 受講時間帯：回答数が最も多いのは「平日午後」、ついで「平日午前」、「平日夜間」。
- ・ 従業員一人当たりには捻出する年間費用：回答数が最も多いのは「10,000円～30,000円」、ついで「50,000円～100,000円」、「3,000円～5,000円」。

### (5) 支援を期待する内容

- ・ 約7割が「国や行政等からの資金的支援（プログラム受講費補助等）」と回答

### (6) 自由回答

- ・ せっかく受講をするのであれば、履修後に名刺に記載できるような資格やロゴがあると良いと思いました。
- ・ リカレント教育の必要性を強く感じているので、本取り組みが活発になることを願っています。
- ・ 現在はパソコンやスマホで何でも検索できてしまう時代ですので、「実体験」が有意義かと思います。様々な体験により若い世代が次の時代を動かしていけるのではと

思います。"講義"より"体験"でこのプロジェクトの内容をお考え頂ければと思います。

(イ)教育コンテンツの集約を目的とした状況の把握

三鷹ネットワーク大学の会員 18 教育・研究機関

(1) リカレント教育全体への取り組み状況

- ・ 取組状況：8 の教育・研究機関が「取り組んでいるがまだ十分でない」、4 の教育・研究機関が「取り組んでいないが取組みたいと考えている」と回答。
- ・ 担当部署等設置状況：11 の教育・研究機関が「いずれも設置していない」、7 の教育・研究機関が「担当する部署（組織）を設置している」と回答。
- ・ 社会人向け講座への取り組み状況：12 の教育・研究機関が「一般的な市民向け公開講座を行っている」。8 の教育・研究機関が「修士課程または博士課程で社会人の受け入れを行っている」。
- ・ 効果と課題：効果としては、「大学の知の社会還元」、「失業等就職状況に対する切実なニーズへの貢献」等の意見が、課題としては、「人材不足」、「教員への負担」、「魅力ある講師陣と集客力不足」等の意見が挙げられる。
- ・ 国、自治体、企業等への期待：「人的面を補填する助成やプログラムに関する動員」、「講座経費への補助金支給」、平日、日中の受講を保障する就業環境への配慮」などの声が挙げられる。

(2) ソーシャル・イノベーションに関連するリカレント教育の取り組み状況

- ・ 取組状況：6 の教育・研究機関が「広く社会課題に関する知識を得て、課題解決のための行動や応援ができる人材の育成を行っている」、「現在は育成を行っていないが、今後行いたいと考えている」と回答。「ソーシャルビジネス等、本業の中での事業開発や事業推進に取り組む人材の育成を行っている」と回答したのは1 教育・研究機関のみ。
- ・ 今後行いたいと考えている人材育成：3 の教育・研究機関が「広く社会課題に関する知識を得て、課題解決のための行動や応援ができる人材の育成」と回答。2 の教育・研究機関が「兼業や副業を含め、プロボノやボランティアとして取り組む人材の育成」、「CSR 部門や社会貢献部門など、関連する部門の人材育成」と回答。

(3) 組織としての SDGs や社会貢献、地域振興等の推進

- ・ 取組概況：10 の教育・研究機関が「本格的に取り組んでいる」、6 の教育・研究機関が「取り組んでいるがまだ十分でない」と回答。
- ・ 取組状況：14 の教育・研究機関が「教育・研究事業の中で事業として取り組んでいる」と回答。8 の教育・研究機関が「社会貢献や地域振興に関するセミナーやイベント等を行っている」と回答。

(4) 企業との連携

- ・ 現状：7の教育・研究機関が「取り組んでいるがまだ十分ではない」、5の教育・研究機関が「取り組んでいないが取り組みたいと考えている」と回答。
- ・ 具体的な取り組み状況：「SDGs、地域振興をテーマとして企業や自治体との連携を深めている」、「継続の仕組み作りに課題がある」、「マンパワー不足」などの声が挙げられる。

(5) 国、自治体、企業等への期待

- ・ 「企業等とのマッチングや啓発活動、人員に対する助成」、「ビジネス化以外での価値創造の継続の仕組みを行政内でつくっていただきたい」などの声が挙げられる。

(5) ソーシャル・イノベーション人材育成に関連する各種プログラムの実施状況

- ・ プログラムとして多いのは、社会的課題把握、データサイエンス、SDGs や社会貢献／地域振興、AI/ChatGPT、倫理／哲学。

(6) 自由回答

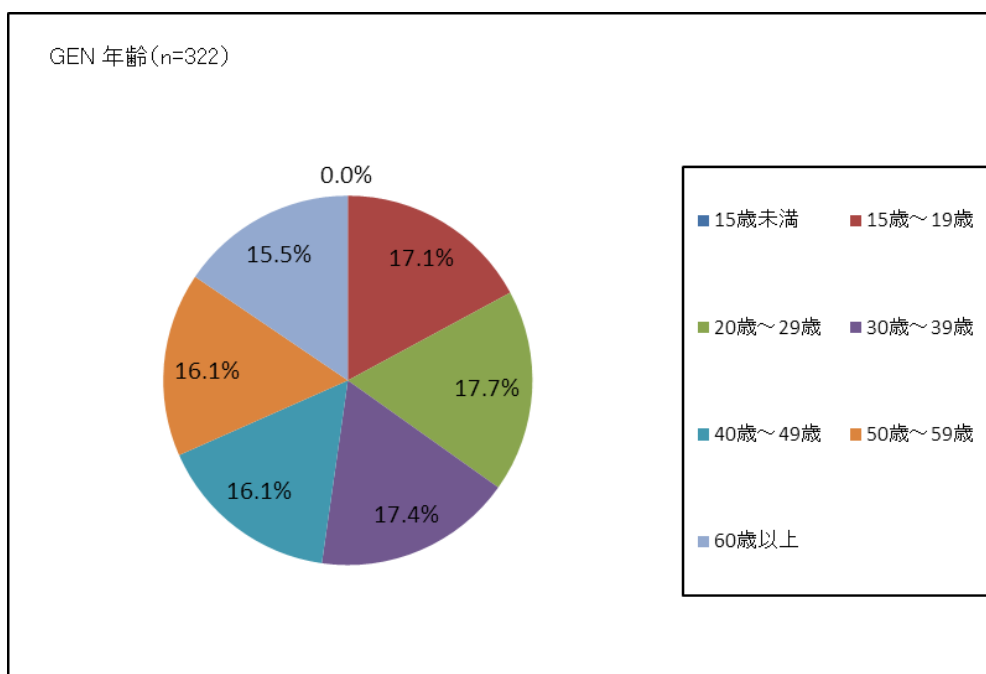
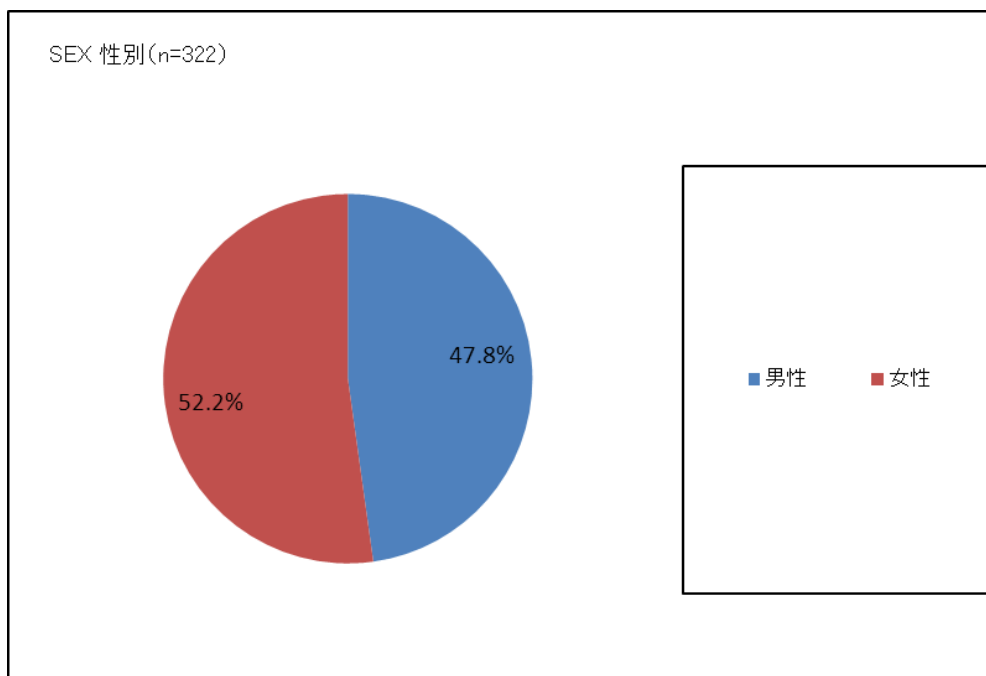
- ・ 修了生有志により、地域活動団体が設立された。
- ・ 多くの社会人に学び直しの機会を提供することにより、大学の「知」の社会還元を果たしているという実感を得ている。
- ・ 社会人学生の場合には、会社の業務のために講義に出席できない期間が生じてしまうことがあるため、一部の講義科目では、複数のモジュールから構成されるモジュール制を採用している。本制度を採用することによって、年度をまたいで全モジュールを修得しても当該講義の単位認定が可能となっており、リカレント教育の充実の一環として、社会人学生へ配慮している。
- ・ リカレント教育の重要性をさらに認識していただき、社会人が昼間であっても学びやすい環境を整えてほしい。
- ・ ある一つの事業があるとして、その事業はこれで完了という内容のものではなく、継続していくことに意義があると思うが、継続するためには継続できる仕組みが必要であり、その仕組みをつくることに課題があると感じている。
- ・ 文部科学省の私立大学向け助成「改革総合支援事業(「大学力」の向上のため、組織的・体系的な大学改革に取り組む私立大学等を一定数選定し、経常費補助金、施設整備費、設備整備費を一体として重点的に支援し、財政基盤の充実を図る採択制の事業)」にも該当すれば参加しやすいのではないか。

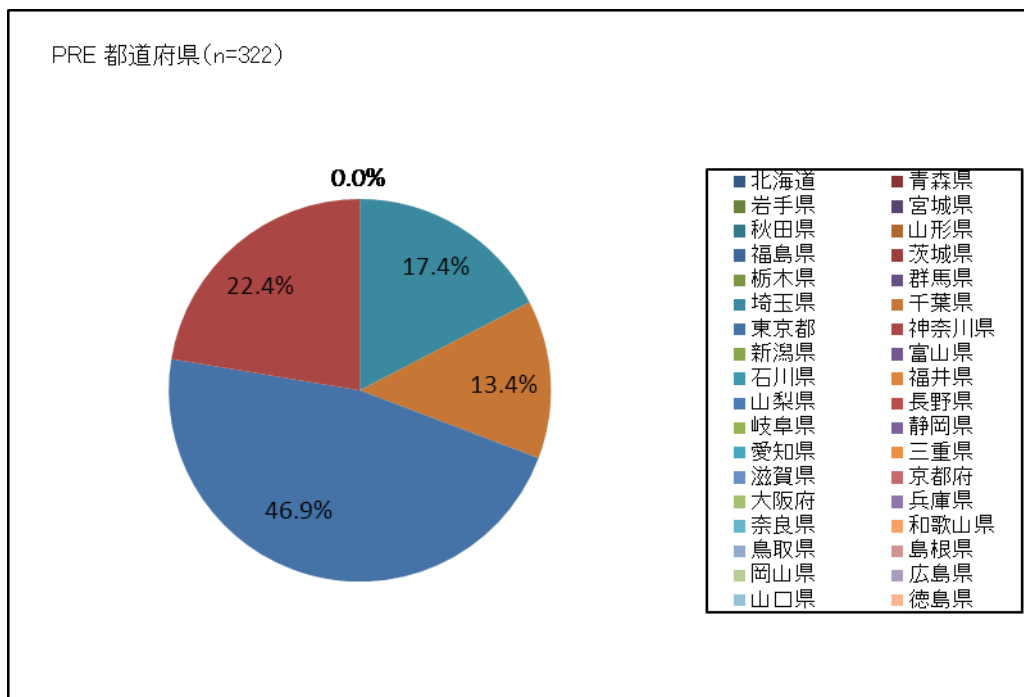
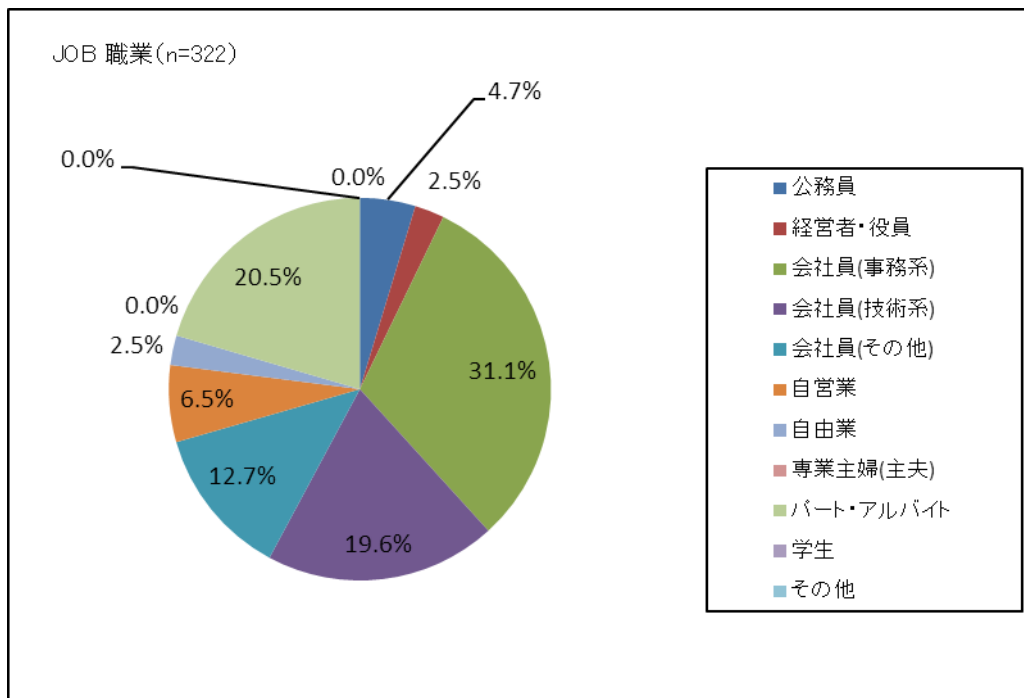


## 7 調査結果の詳細

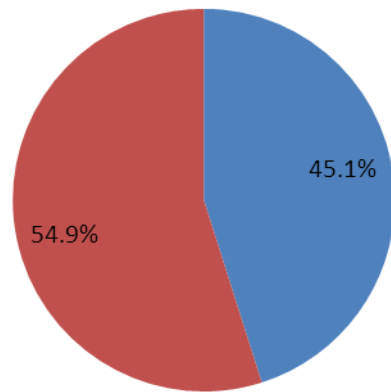
### (ア) 地域に分散している人材ニーズの調査・把握

#### ①個人に対する調査

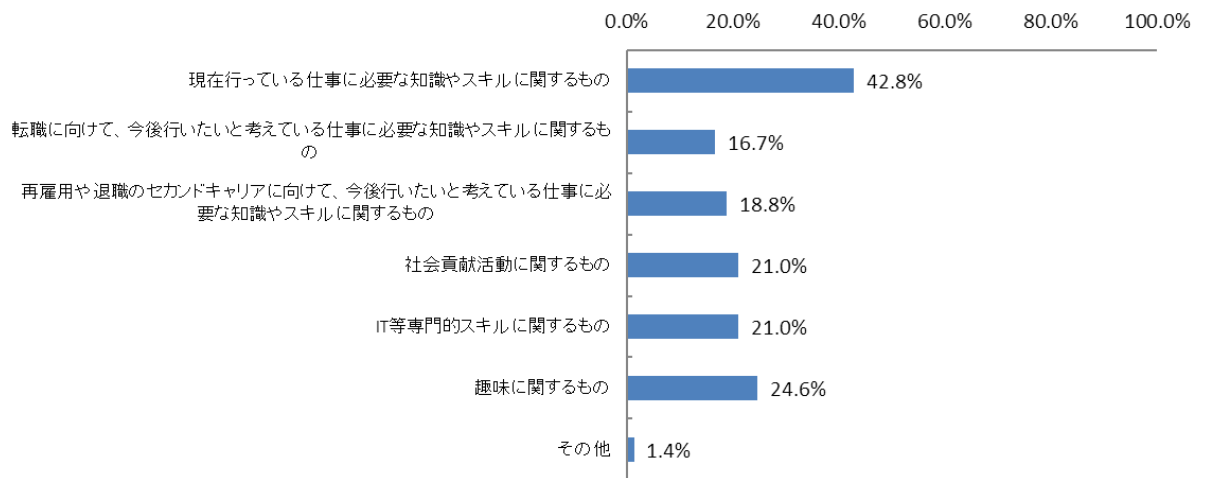


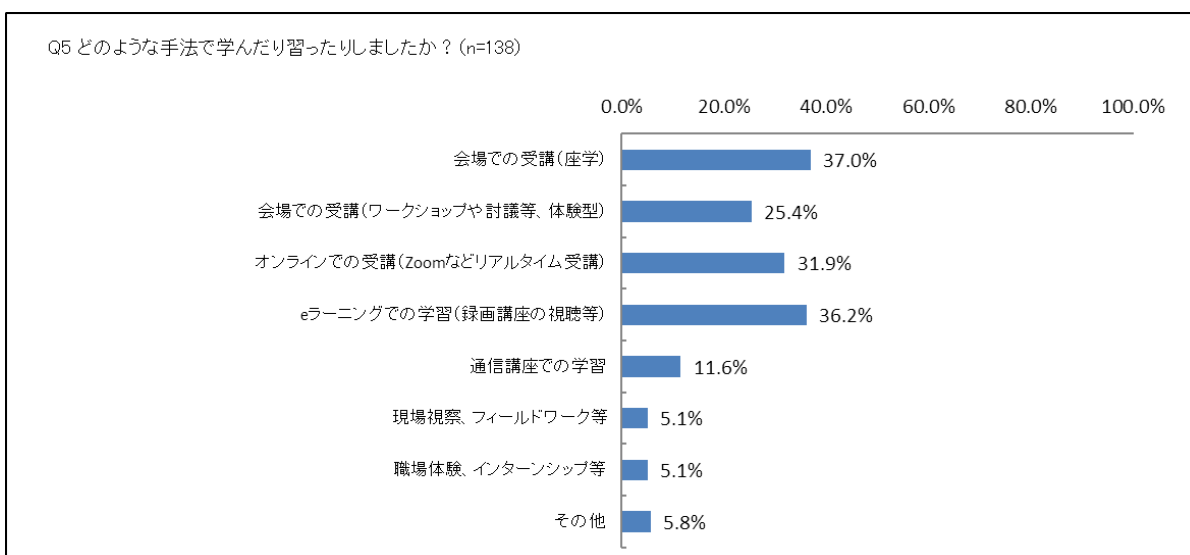
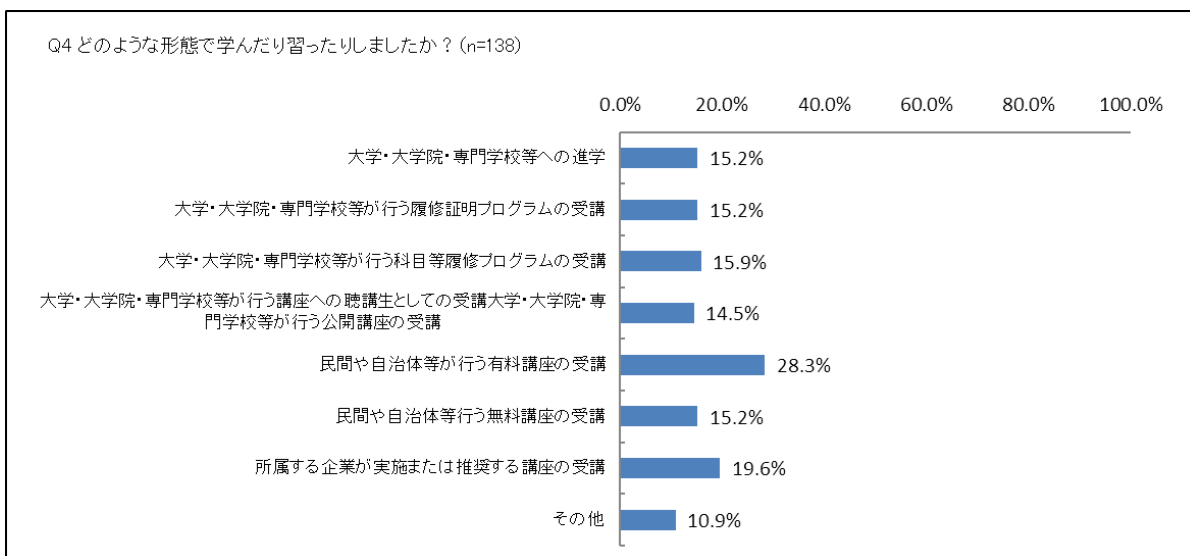


Q2 この3年の間に何かを学んだり習ったりしたことはありますか？ (n=306)

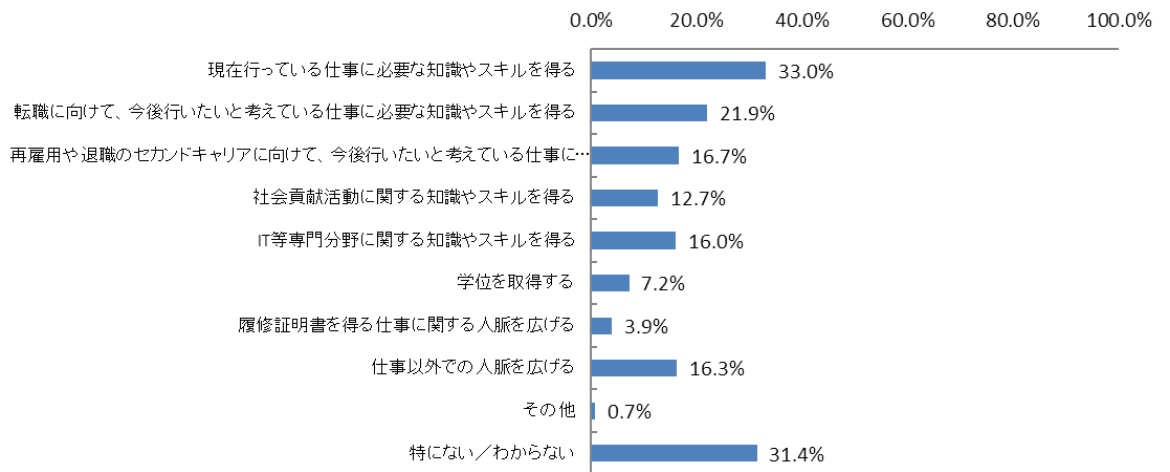


Q3 学んだり習ったりしたことは何ですか？ (n=138)

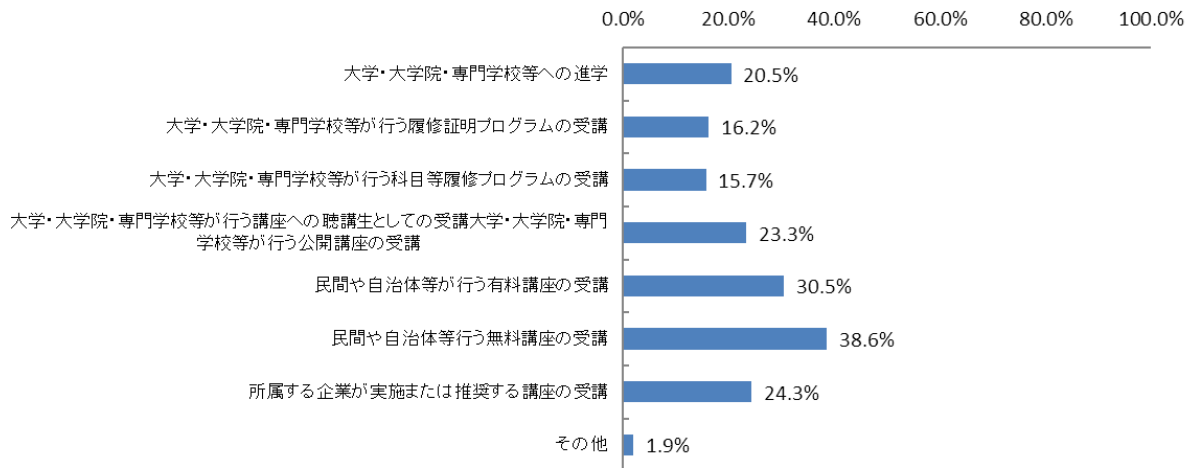




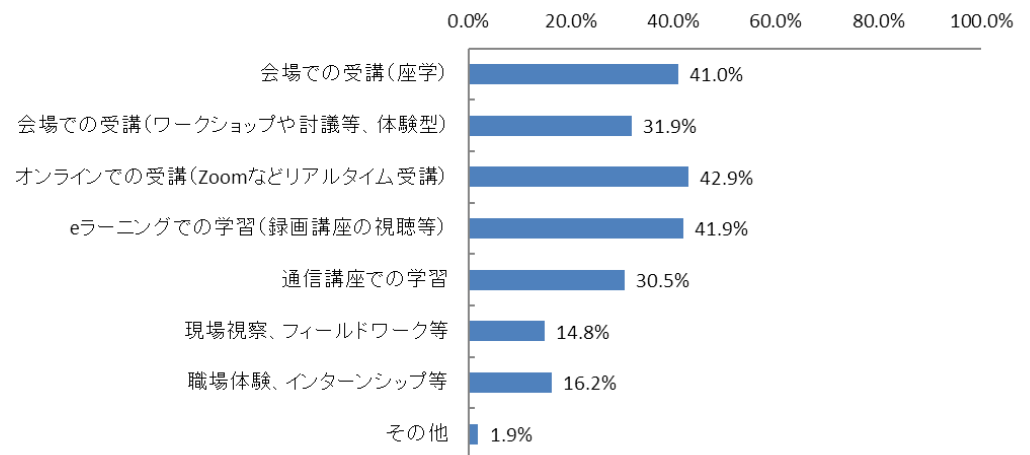
Q6 リカレント教育プログラムを受講すると想定した場合、下記の内容の中から関心のあるものを教えてください。(n=306)



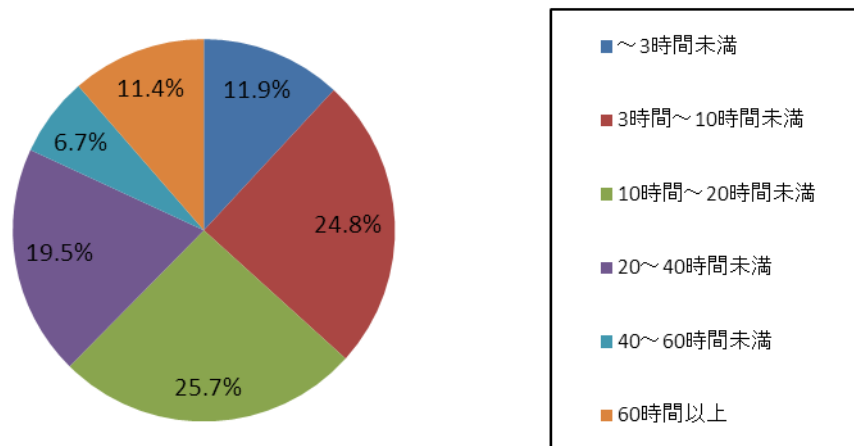
Q7 リカレント教育プログラムを受講すると想定した場合、下記の形態の中から関心のあるものを教えてください。(n=210)



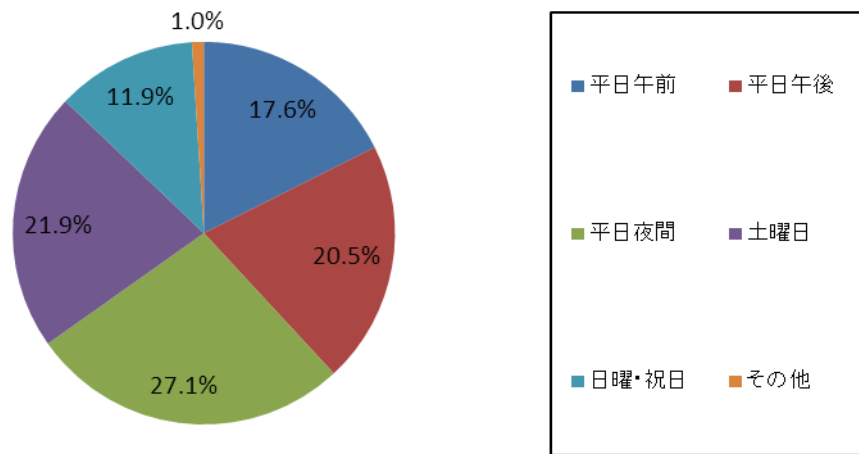
Q8 リカレント教育プログラムを受講すると想定した場合、下記の手法の中から関心のあるものを教えてください。(n=210)



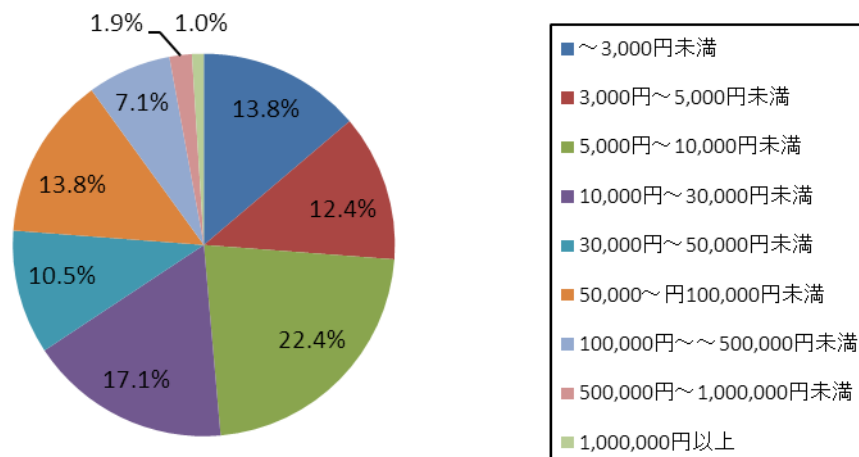
Q9 リカレント教育プログラムを受講すると想定した場合、考えられる年間の受講合計時間に最も近いものを教えてください。(n=210)



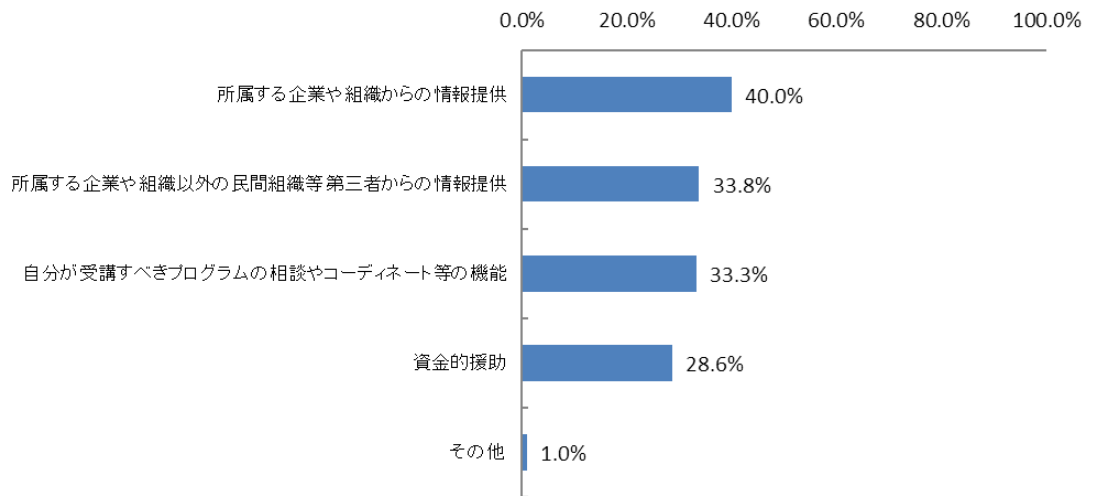
Q10 リカレント教育プログラムを受講すると想定した場合、考えられる受講時間帯に最も近いものを教えてください。(n=210)



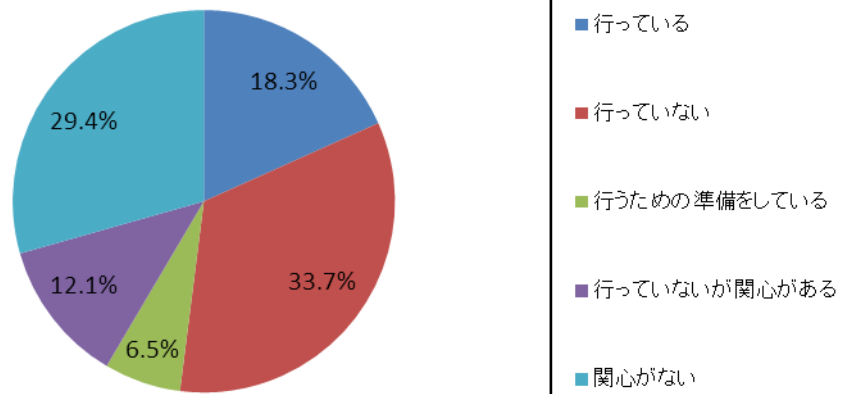
Q11 リカレント教育プログラムを受講すると想定した場合、考えられる1年間の支出額として最も近いものを教えてください。(n=210)



Q12 リカレント教育プログラムの受講を促進する要因として期待するものを教えてください。(n=210)

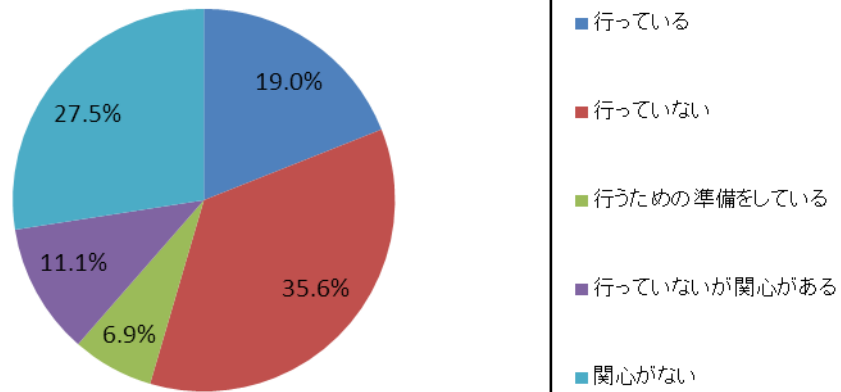


Q13 ボランティア／社会貢献活動(PTAや自治会活動含む)を行っていますか。(n=306)

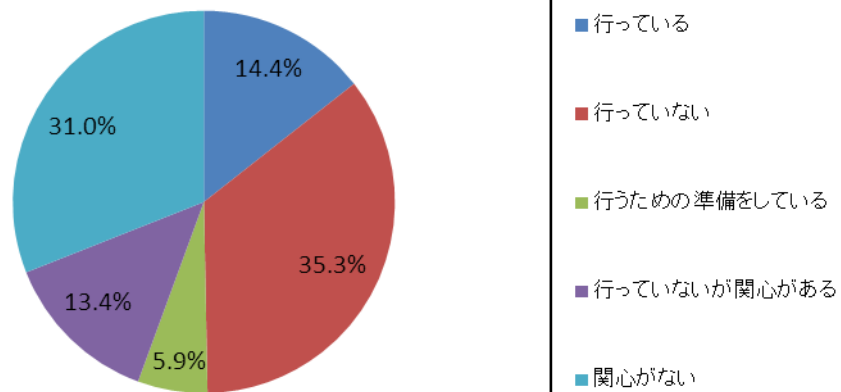




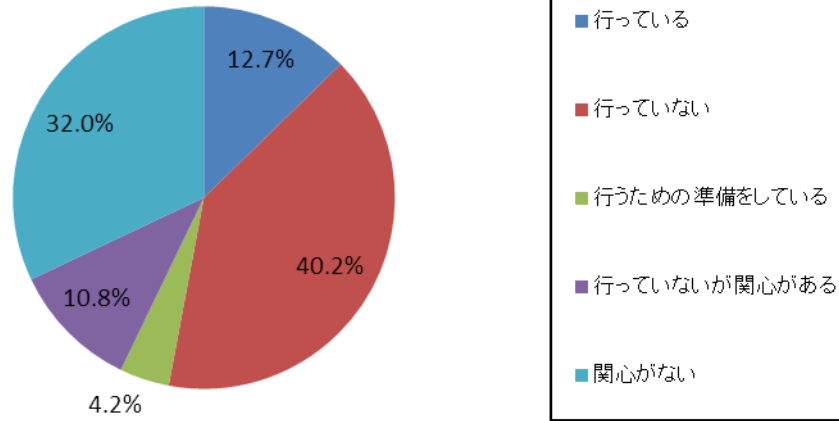
Q14 寄付やクラウドファンディング、フェアトレード商品を購入する等で、NPO等の活動の応援を行っていますか。(n=306)



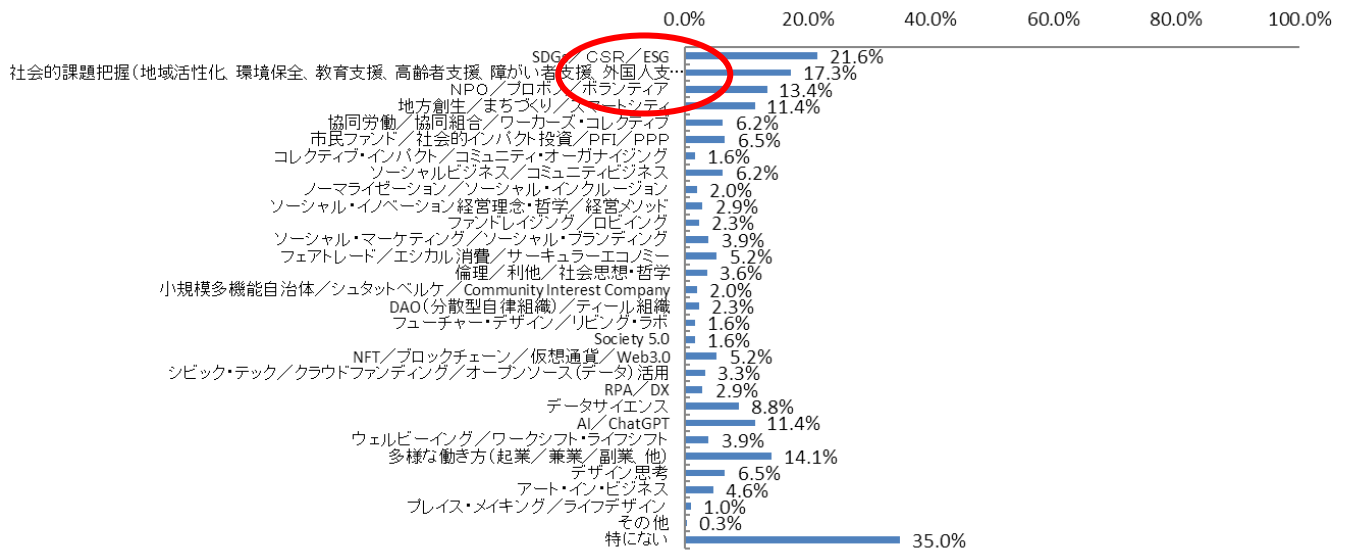
Q15 プロボノや兼業・副業等で社会的な活動を応援する行動を行っていますか。(n=306)



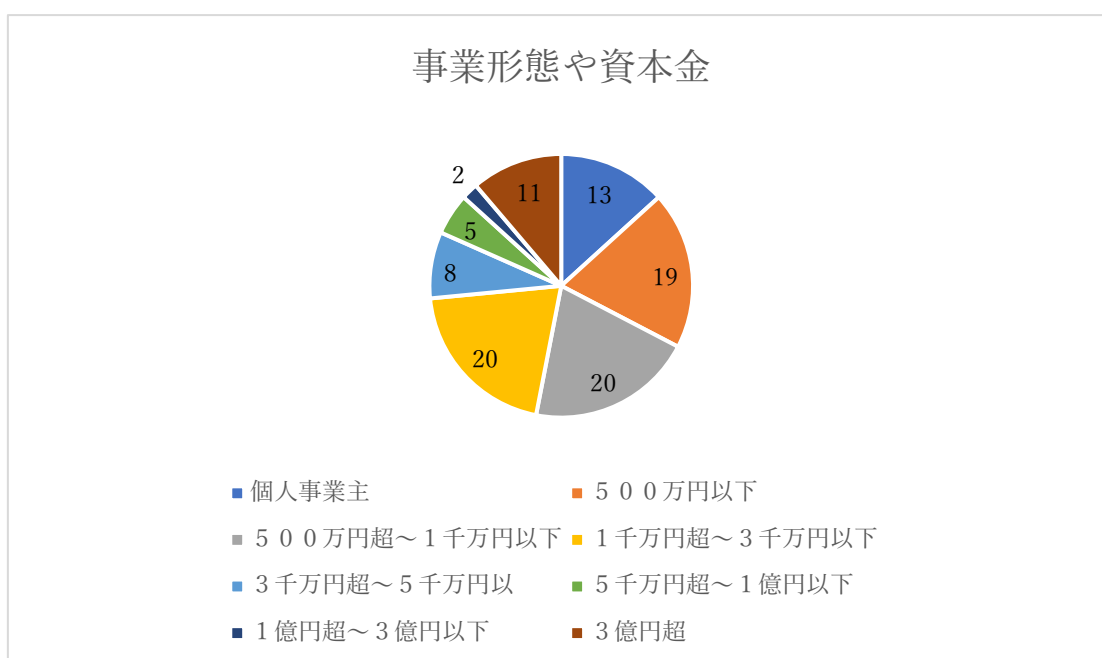
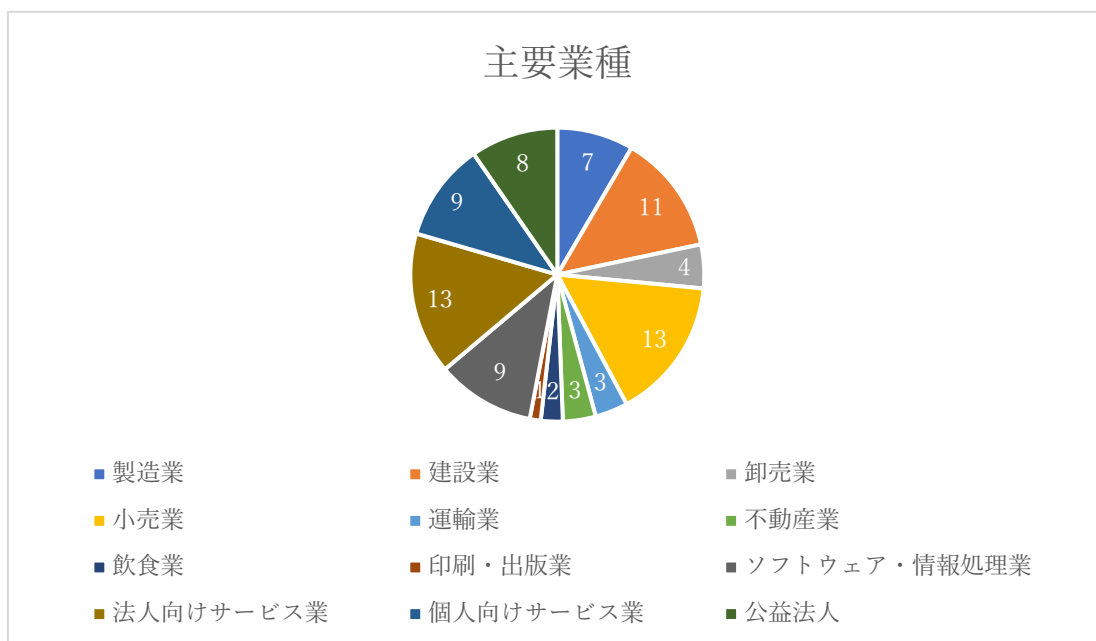
Q16 ソーシャルビジネスやコミュニティビジネス、社会貢献事業の取り組みを行っていますか。(n=306)



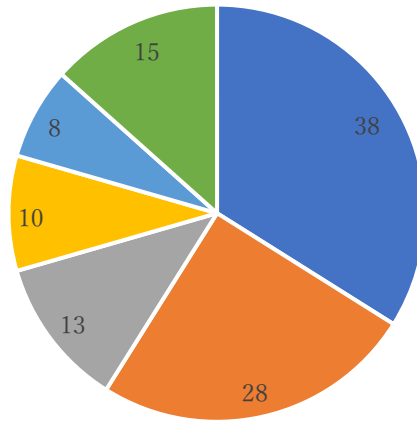
Q17 下記の学習プログラムの中から関心のあるものを教えてください。(n=306)



②企業に対する調査

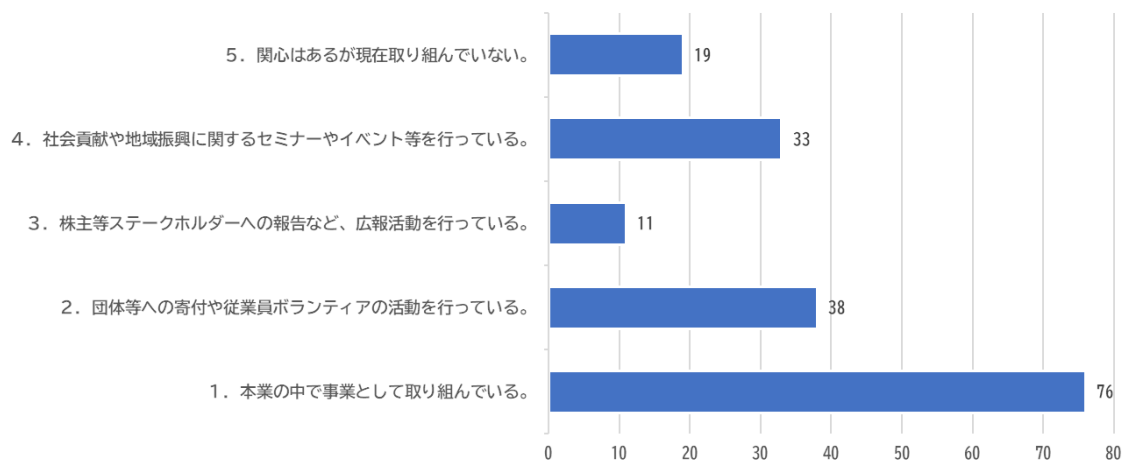


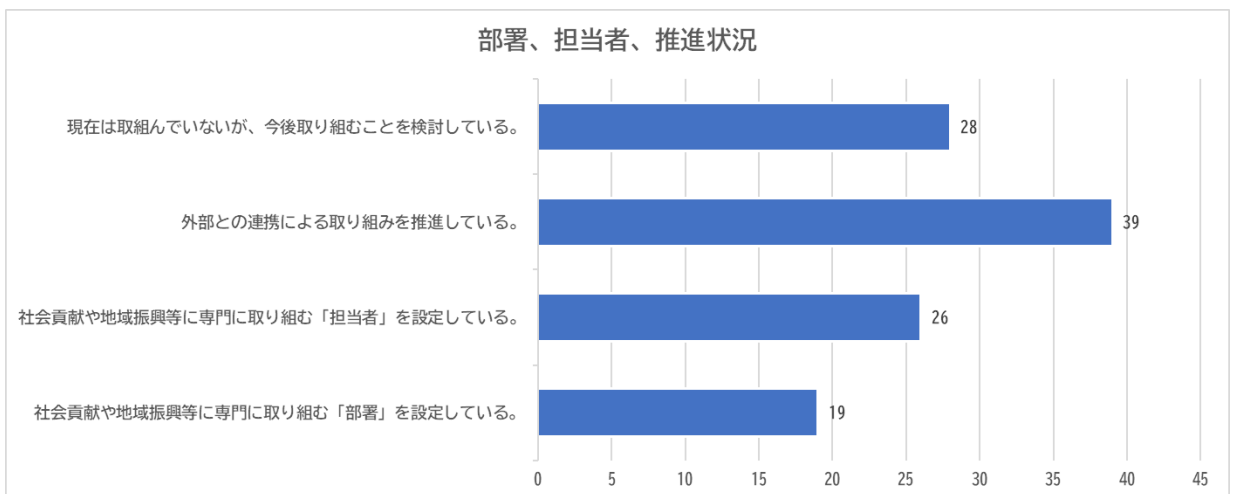
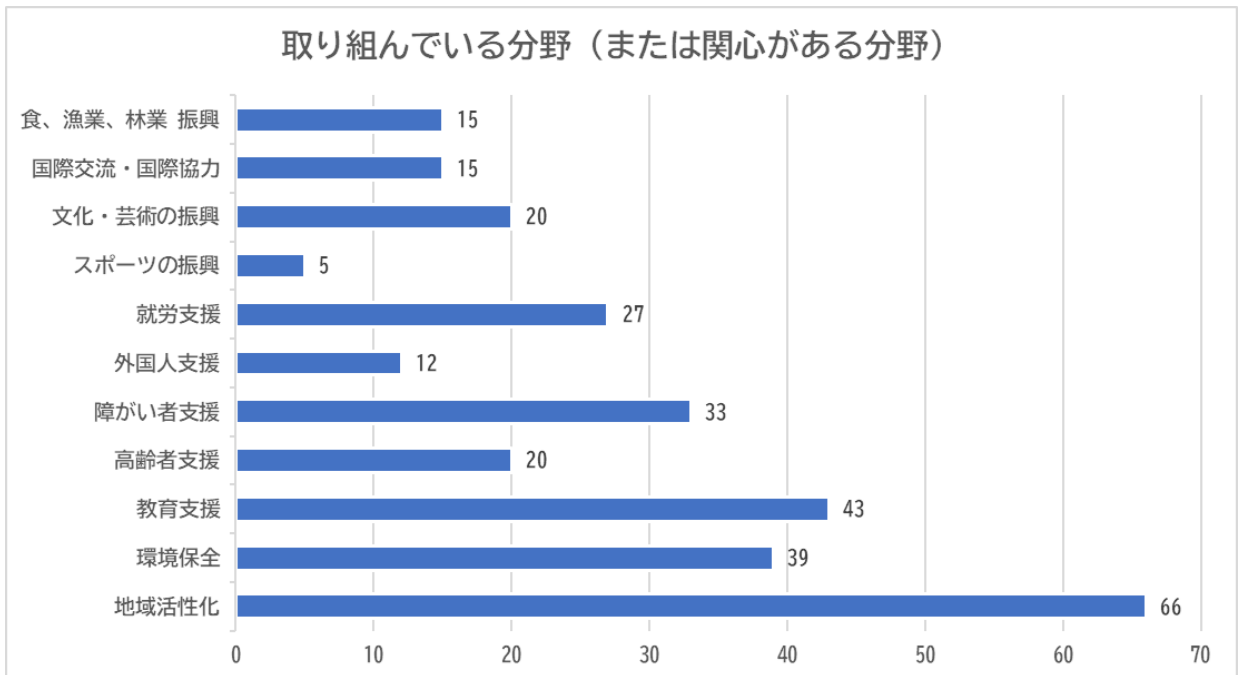
## 従業員数



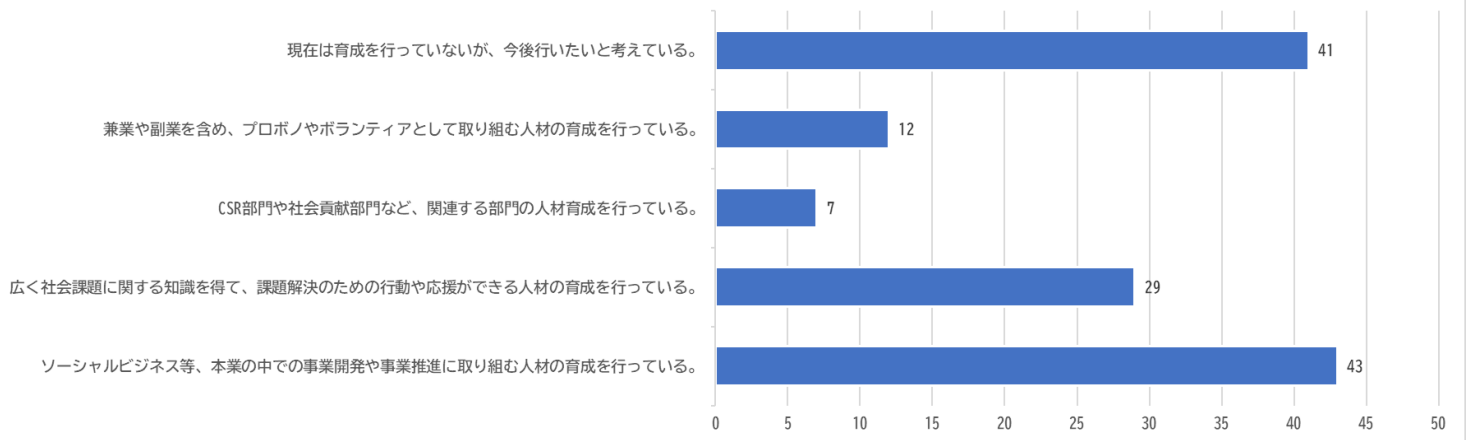
■ 0～5人 ■ 6～20人 ■ 21～50人 ■ 51～100人 ■ 101～300人 ■ 301人～

## 社会貢献や地域振興等の取り組み状況

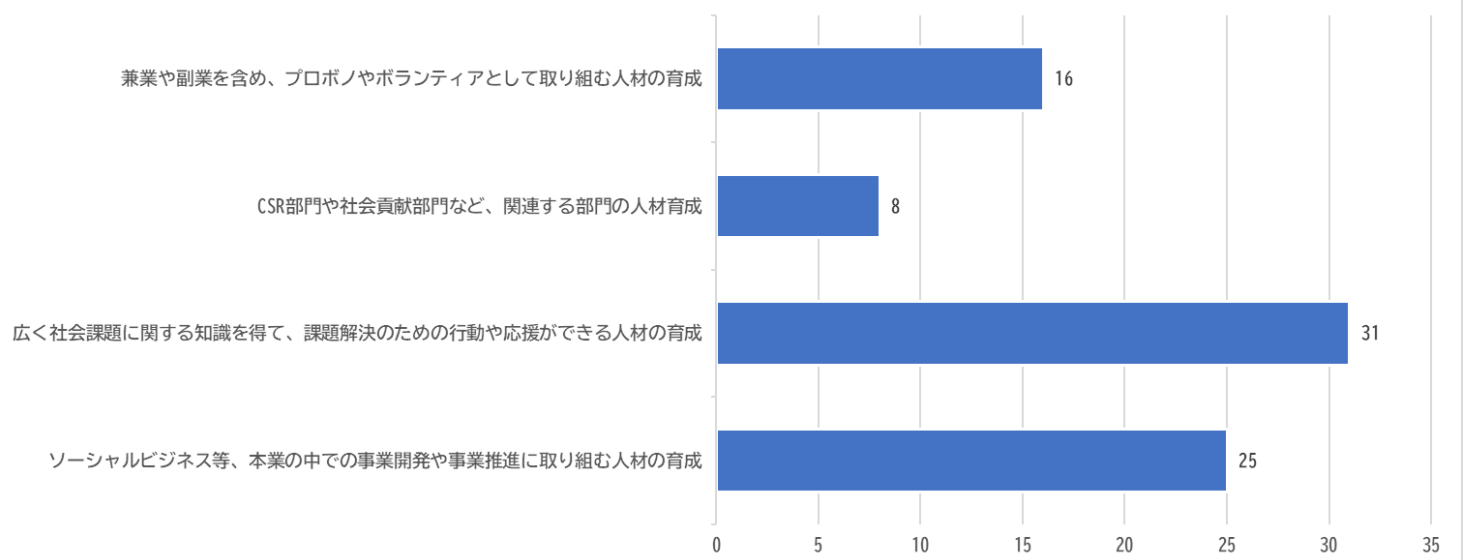




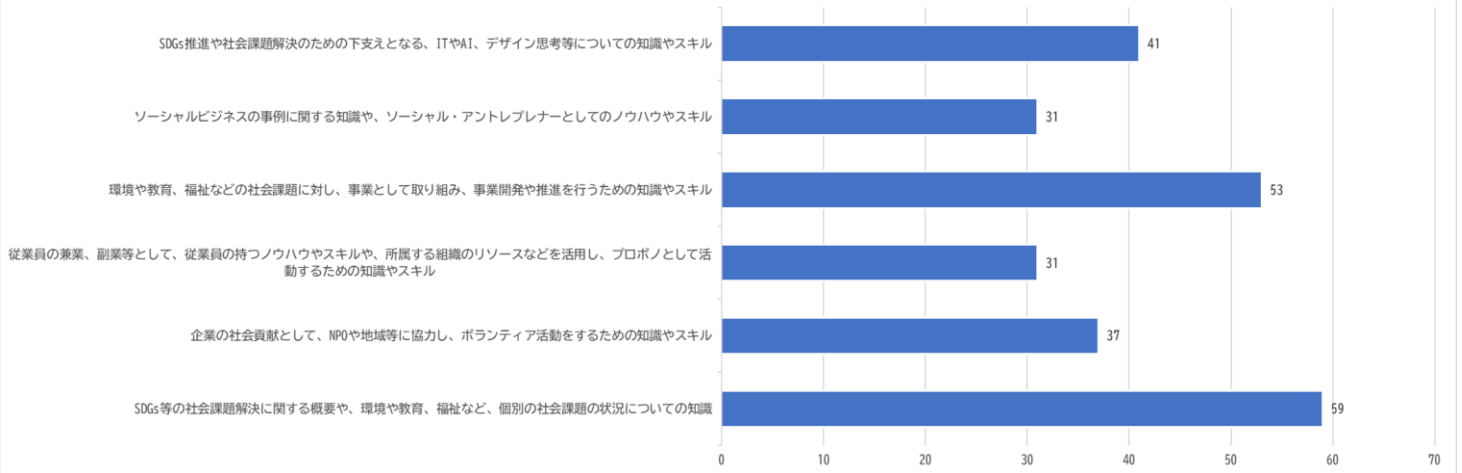
### 社会課題に対する観点を持った従業員の育成



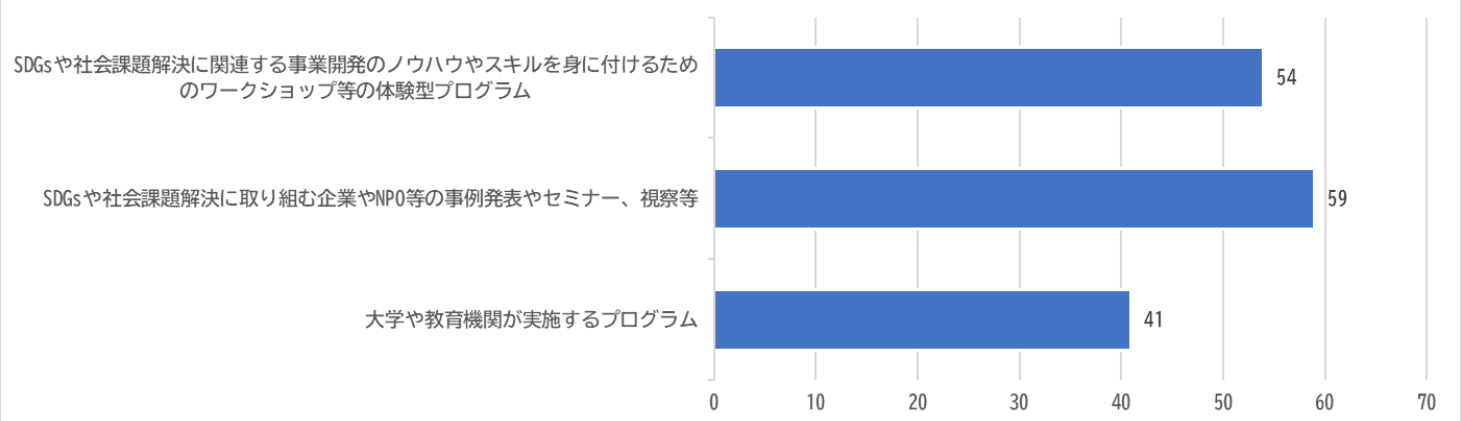
### 今後行いたいと考える人材育成の内容



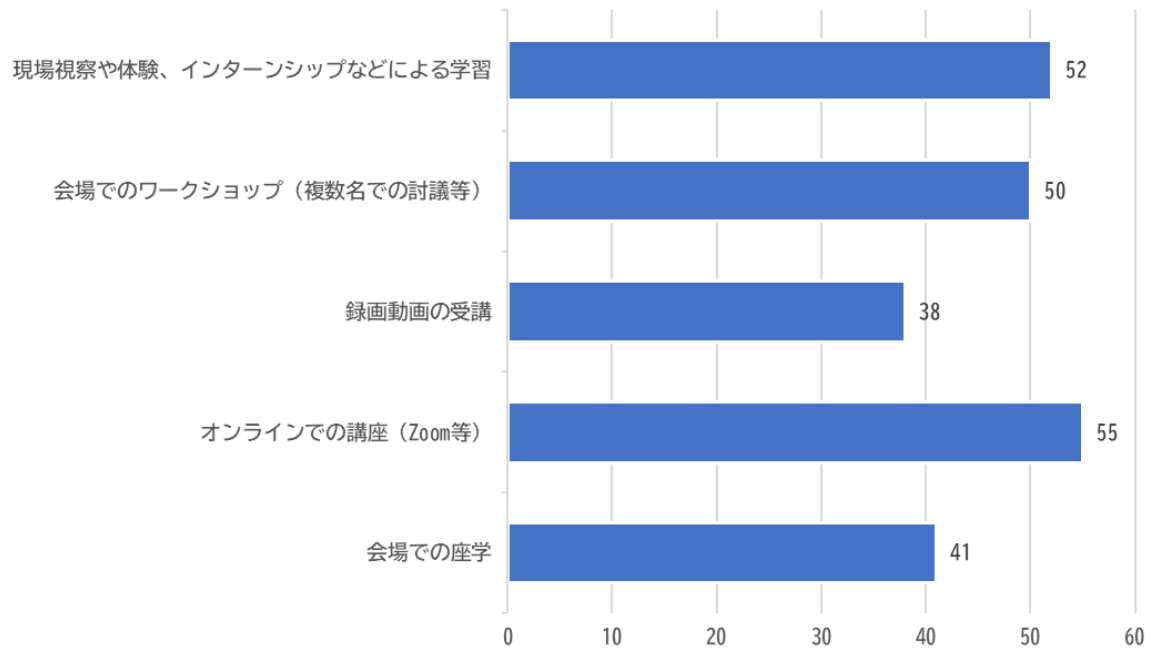
### 従業員に習得を期待する知識や能力



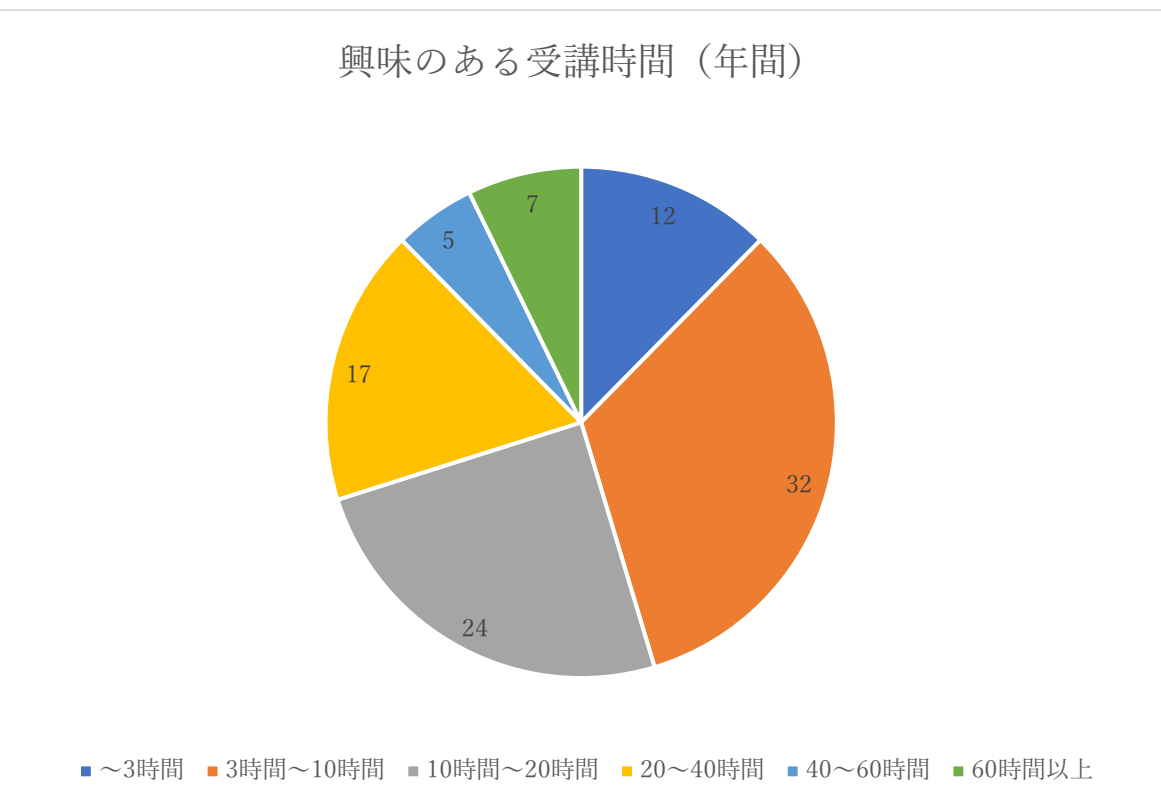
### 従業員の参加を希望する内容



### 興味のある参加形態

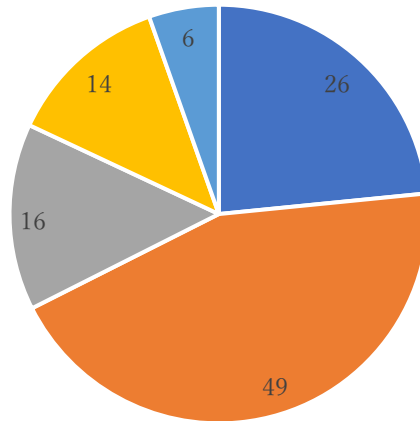


### 興味のある受講時間（年間）



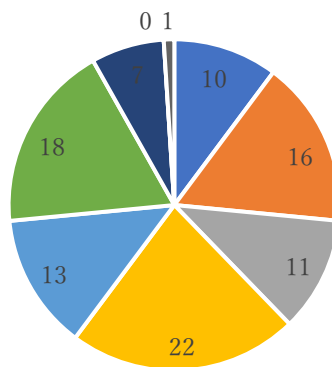


### 受講に適した時間帯



■ 平日午前 ■ 平日午後 ■ 平日夜間 ■ 土曜日 ■ 日曜・祝日

### 従業員一人当たりには捻出するものとして適する費用 (年間)



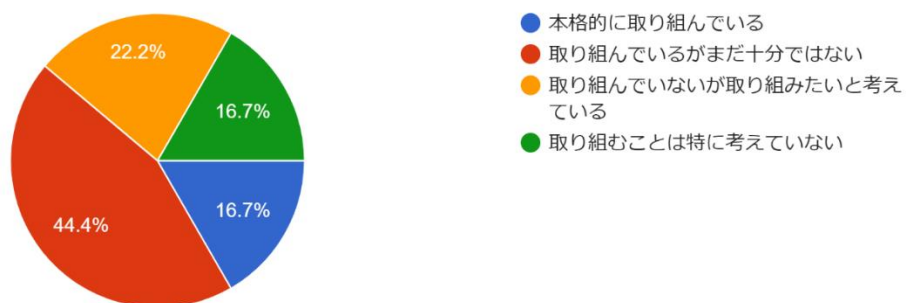
■ 0～3,000円 ■ 3,000円～5,000円 ■ 5,000円～10,000円  
 ■ 10,000円～30,000円 ■ 30,000円～50,000円 ■ 50,000円～100,000円  
 ■ 100,000円～500,000円 ■ 500,000円～1,000,000円 ■ 1,000,000円以上

(イ)教育コンテンツの集約を目的とした状況の把握

三鷹ネットワーク大学正会員 18 教育・研究機関

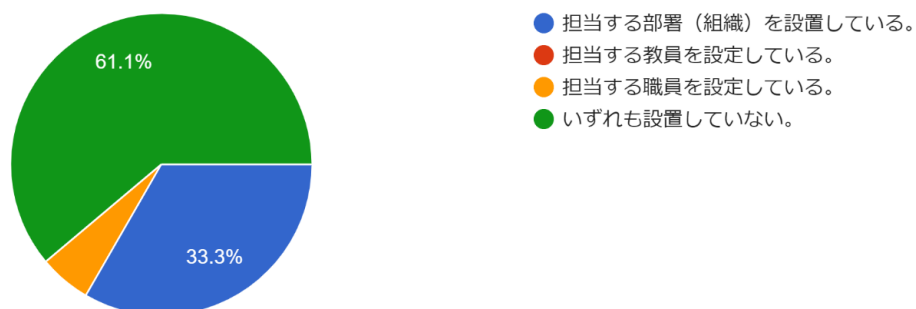
現在リカレント教育に取り組んでいらっしゃいますか？

18 件の回答

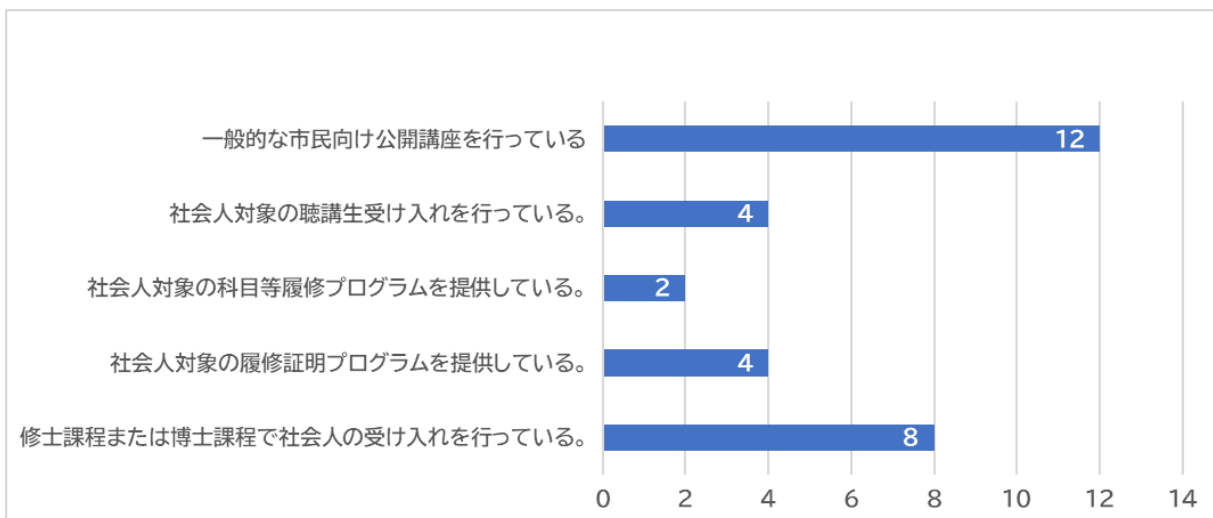


リカレント教育を担当する部署（組織）や担当者を設定していますか？

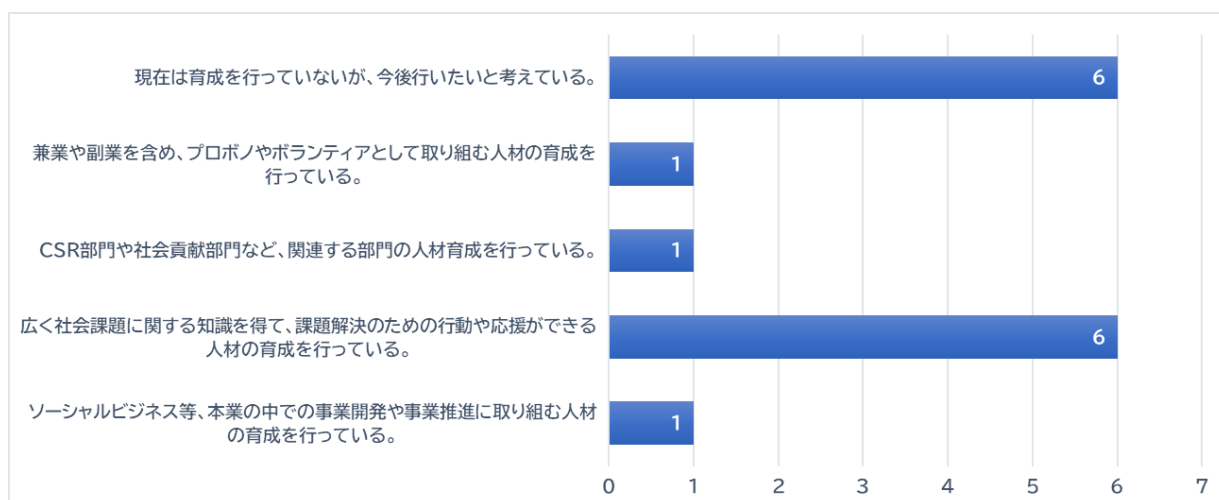
18 件の回答



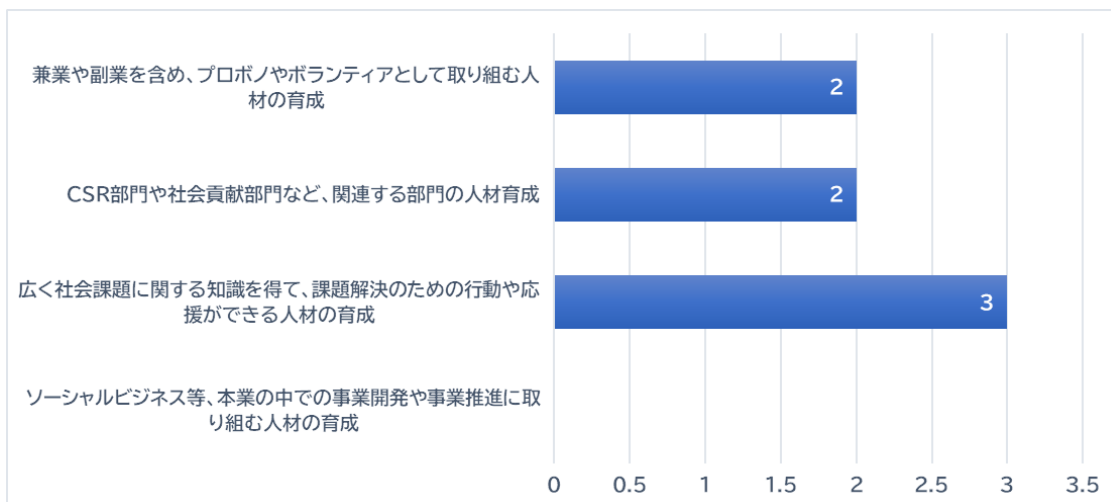
社会人向け講座への取り組み状況について教えてください。



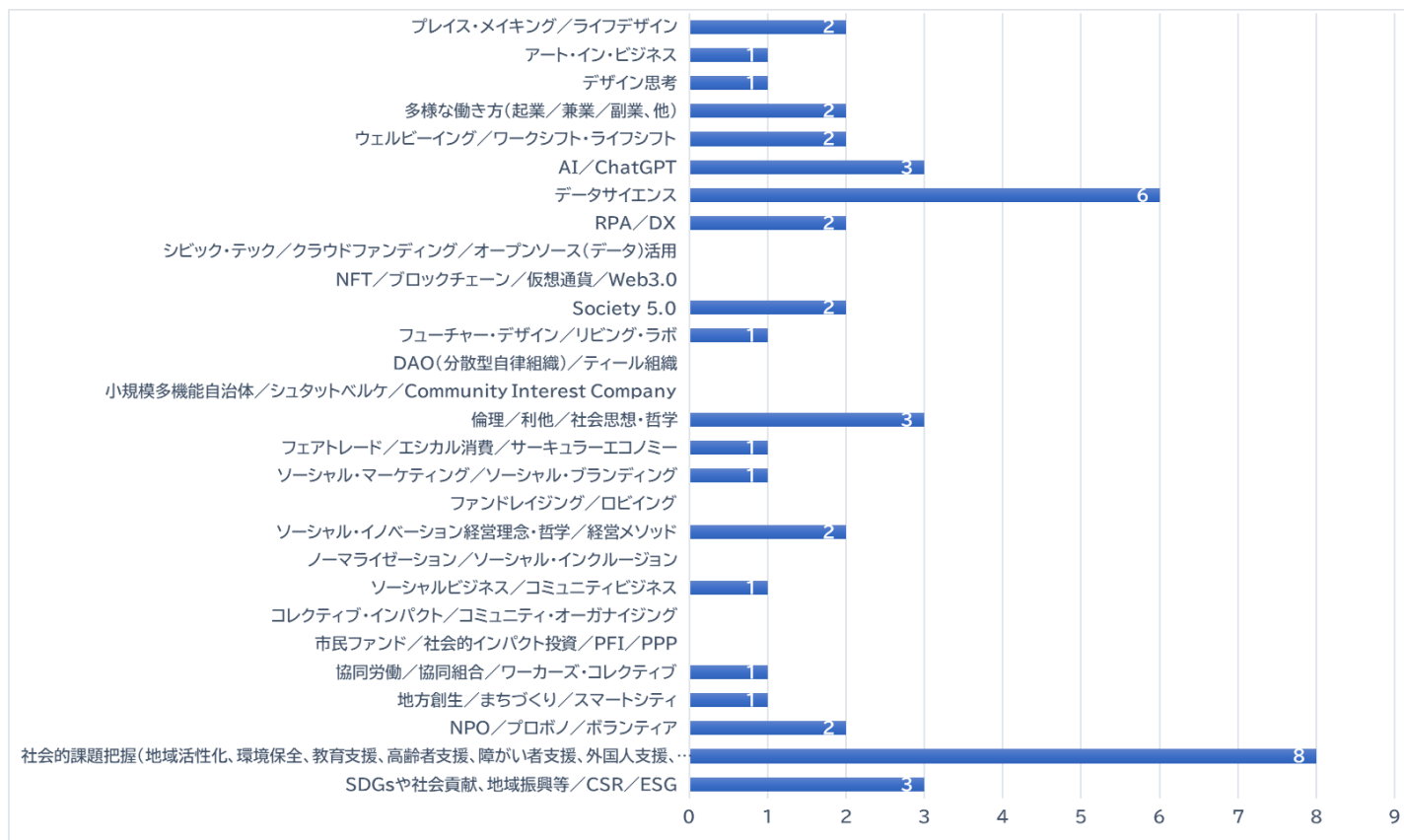
社会課題に対する観点を持った社会人受講生の育成について、現状の取り組み状況について教えてください。



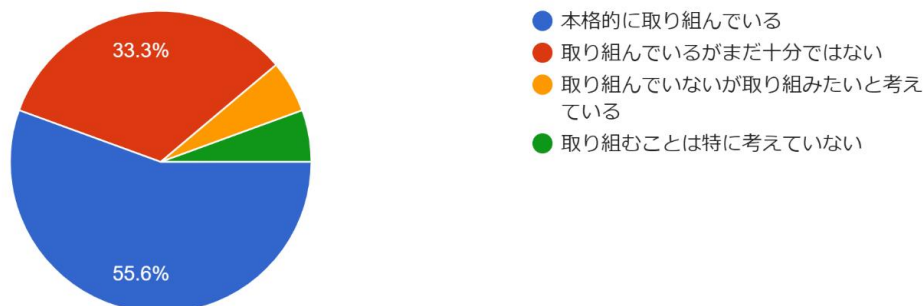
上記で「現在は育成を行っていないが、今後行いたいと考えている」と回答した方にお聞きします。今後行いたいと考える社会人受講生の育成の内容を選択ください。



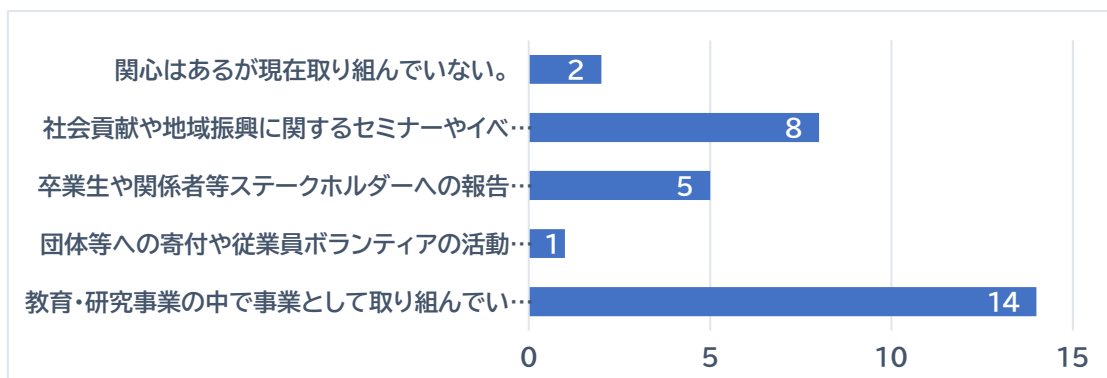
本事業で育成する人材像として、「課題先進国日本において求められる”ソーシャル・イノベーション人材（社会問題を解決するための革新的な事業を、DX 等を活用しながら推進することのできる人材）」を想定し、育成するためのプログラムとして現在下記を想定しています。貴教育・研究機関で該当するプログラムを選択ください。



教育・研究機関としてSDGsや社会貢献、地域振興等の推進に取り組んでいらっしゃいますか。  
18件の回答



SDGs や社会貢献、地域振興等の取り組み状況について選択ください。



企業との連携状況について教えてください。地域活性化、環境、教育、福祉、第一次産業振興、国際協力など、いわゆる社会的課題解決事業の開発や推進等について、企業との連携により取り組んでいらっしゃいますか。

企業との連携状況について教えてください。地域...との連携により取り組んでいらっしゃいますか。  
18件の回答

